

# 大道芸アジア月報 2019年8月

Vol. 30, no. 8

編集・発行人 上島敏昭

〒165-0025 東京都中野区沼袋 2-31-2

春山荘・東

## ■大道芸案内

主な大道芸スポット(土・日・祝日など、通年大道芸が見られるポイント)

■大阪・天保山海遊館広場 ■お台場・デックス東京ビーチ ■クインズスクエア横浜 at! [www.studioeggs.com](http://www.studioeggs.com) ■名古屋・大須ふれあい広場

■ヨコハマ大道芸(山下公園、グランモール公園、ジャックモール) <http://daidogeij.jp/> ■しずおか大道芸の街 <http://shimurukai.org/>

■東京都へブンアーティスト [www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/bunka/](http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/bunka/) ■大阪パフォーマーライセンス <http://www.osaka-performer.com/index.php>

■江ノ島大道芸 <http://www.fujisawa-kanko.jp/alacarte.html> ■仙台まちくるパフォーマーズ <https://machi-kuru.com/performers>

## ★今月の大道芸公演

△ギア GEAR <http://www.gear.ac/> ○千葉ポートシアター(京葉線「千葉みなと」駅下車)

●1月より連日(火・水は休演)開演時間は要確認

ブレイクダンス、マジック、マイム、ジャグリングなど融合した劇場パフォーマンス。

ジャグリングには、森田智博、ボンバンゲー、CONRO、小林智宏、KaNaTa 等が出演

問合せ・電話 050-5238-3533(イーストバジョン公演事務局)

△SETOUCHI SUMMER NIGHT FESTIVAL ○高松市・サンポート高松 ハーバープロムナード

●7月20(土)~8月4(日) 17:00~21:00 <https://setouchi-summer-night.com/>

カンパニー・デ・キダム(フランス) 大道芸:紙磨呂(7/20~27)、Syan(7/28~8/4)

△FUJI-Q 大道芸サマーフェスティバル2019 <https://www.fujiq.jp/event/h5f6de00001kqli.html> ○富士急ハイランド

●7月27(土)~8月2(金) 激流波、ザークー岡、浪花騒動屋HIX、わっしょいゆへた、Hiroki

●8月3(土)~8月9(金) 道化師 LOTO、ZEN、NiA、Stick Artist KIA

●8月10(土)~8月16(金) LEO、マジカル TOM、ミス・サリバン、スピニングマスターズ、ジャグラーみぞん

●8月17(土)~8月23(金) Duggle KOMEI、ファイヤーパフォーマー RYU、あまる、ジョー次、Juggler Laby、佐々木カンタ

△空転劇場 vol.22 「才と彩」 <https://www.kuutenkidou.com/kuutentheater> ○浅草・東洋館

●7月30(火) 19:30開演(開場20分前)

Ramiro Vergaz、ふくろこうじ、上田尚弥、大住拓輝、目黒宏次郎、けーすけ、GAKU

一般¥3000、学生¥2000、当日¥3000(一般・学生とも)

チケット:<http://urx2.nu/W3sa>

△KAATキッズプログラム ○神奈川芸術劇場 大スタジオ

●7月27(土) 11:30&15:00 / 28(日) 11:30 「ルー」 <https://www.kaat.jp/d/loo>

スペインの熱い風と、海、大自然

●8月3(土) 11:30&15:00 / 8月4(日) 11:30 「スティック・バイ・ミー」 <https://www.kaat.jp/d/stickbyme>

スコットランドからやってきた、ちょっぴり不思議な友達との冒険

両公演とも、一般:¥2000、高校生以下:¥500

問合せ:0570-015-415(チケットかながわ)

△飯田人形劇フェスタ2019 <http://iida-puppet.com/> ○飯田市および近隣町村の約140会場

●7月31(水)~8月5(月)

[http://iida-puppet.com/images/2019/06/書類\\_2019\\_開催案内チラシ.pdf](http://iida-puppet.com/images/2019/06/書類_2019_開催案内チラシ.pdf)

問合せ:0265-23-3552(いいた人形劇フェスタ実行委員会事務局)

△こっちゃこ大道芸 in 南相馬2019 <https://www.facebook.com/kirakukikaku/> ○福島県南相馬市高見公園

●8月1(木)~25(日)

To-Ru(1・2・3日)、文房具エンターティナー Kay(3・4日)、shige(6・7日)、アートパフォーマー☆ファイター(8・9日)、見習い魔法使いゆうた(10日)、鷹島姫乃(10・11日)、オーイズミ(13・15日)ジョー次(14・15日)、大道芸人ジニー(15・16日)、keiko(15日)、大道芸人しらお(17・18)、20~22日フリーDAY、sakon(23日)、山本光洋(24・25日)、山本光洋&エンジョイ joy(24日夕方より小高「やどりぎ」で夜宴芸)

△松江水郷祭 京店カラコロサーカスフェスタ ○松江市京店商店街

[https://ameblo.jp/matue-kyomise/entry-12486420651.html?fbclid=IwAR3lR6kDo9mi1TWb-xJSmPuxnvi5GJlyS9RfU0touyr11hWYt3tZ\\_QICBqI](https://ameblo.jp/matue-kyomise/entry-12486420651.html?fbclid=IwAR3lR6kDo9mi1TWb-xJSmPuxnvi5GJlyS9RfU0touyr11hWYt3tZ_QICBqI)

●8月2(金)~4(日)

ジロー今村(魂の肉体系現者)、ジョー次(ディアボロアーティスト)、そ〜だ(コンビジャグラー)、ピンQ(コミックダンサー)、ケンタロウ(リ

アルフットジャグラー)、ペンぎん屋(足長のひと)、しょうか(高原のギタリスト)、草志(リアル受験生)、テルやん(パントマイミスト)  
△下市タウンフェスティバル国際大道芸 <http://hwsa3.gyao.ne.jp/humming-road/festa.html> ○水戸市本町一丁目ハミングロード

●8月3(土)

中国雑伎芸術団、加納真実、EPPAI&マサトモジャ、SUKE 3&SYU、ブラックエレファント、セクシー-DAVINCI、ココナツ山本、空転軌道

△第12回はこだて国際民族芸術祭 <http://wmdf.org/> ○函館市元町元町公園

●8月5(月)~11(日)

油井ジョージワンマンバンド、ボンバンゲー、クラウンチャッピー、クラウンリオ、ピエロのぐっち、ペインター、りずむらいず、スケサンアンドシ  
ュー、太平洋、タカパーチ、てまわしオルガンキノ、

△とちかち夏空大道芸ウィーク <https://www.facebook.com/kitanodaitidedaidougei> ○帯広市

●8月10(土)~16(金)

FunnyBones、ダメじゃん小出、SEOPPI、La strada company、りずむらいず、シンクロニシティ、吉川健斗、油井ジョージワンマンバンド、ひこひこ、  
ミホウ、帯広ジャグリングクラブ+芹川弘樹

△アーサー・ピナード紙芝居「ちっちゃいこえ」実演とトーク <http://www.aya.or.jp/~marukimsn/> ○東松山・原爆の図丸木美術館

●8月17(土)14:00

アーサー・ピナード(詩人)、聞き手:岡村幸宜(原爆の図丸木美術館学芸員)

参加費¥500(入館料別)定員60人、要予約

予約申し込み:電話0493-22-3266

△白樺湖大道芸フェスタ <https://familyland.ikenotaira-resort.co.jp/event/festa.html> ○白樺リゾート池の平ファミリーランド

●8月17(土)~9月1(日)

サンキュー手塚(8/17~8/29)、ダメじゃん小出(8/19~9/1)、わっしょいユータ(8/17,8/18,8/24,8/25,8/31,9/1)、なつきー&カナト(8/17~8/19)、  
PerformerSYO!(8/30~9/1)

△アートタウンつくば2019 大道芸フェスティバル <https://arttowntsukuba.jimdo.com/> ○茨城県つくば市・つくば中央公園

●8月24(土)25(日)

△深川お化け縁日 <https://fukagawakaidan.tumblr.com/> ○深川江戸資料館、資料館通り

●8月24(土)25(日)16:00~20:00

深川みせもの小屋(神農研究社)

¥500(予定)

△村井弦斎ゆかりの説経節を聴く [http://sekkyou.s371.xrea.com/?page\\_id=51](http://sekkyou.s371.xrea.com/?page_id=51) ○平塚市・八幡山の洋館

●8月25(日)14:00開演

若松若太夫(「さんせう太夫 鳴子唄の段」、「小栗判官 矢取りの段」)

全席自由¥2000(定員50名)

問合せ:平塚市まちづくり財団文化事業課 電話043-32-2237

△空転劇場 vol.23 <https://ja-jp.facebook.com/kuuentheater/> ○浅草・東洋館

●8月29(木)19:30開演(開場20分前)

山村祐理、SAME SAME、おこたんぺ、AYUMI、MAKi、SHOGUN、八幡雄士

一般¥3000、学生¥2000、当日¥3000(一般・学生とも)

チケット: <http://urx2.nu/B3zw>

△SAPPORO PERFORMANCE PARTY <https://sapporo-performance-party.jimdo.com/> ○札幌市 札幌駅前通り地下歩行空間、北3条交差点、ほか

●9月15(土)16(日)

SEOPPI、池田洋介、桔梗ブラザーズ、KANA∞、吉川健斗、目黒陽介、ゼロコ、大道芸時雨、大道芸人 SATOYA、青い海海賊カジオトーレ、鳥待ち少女、  
双子パフォーマーPLUTO

△第21回月潟大道芸フェスティバル <https://tsukigata-daidoge.com/> ○新潟市南区月潟地区商店街

●9月22(日)10:30~

若林正の

## 食って極楽

蕨にも中華の波が

・・・蕨駅西口・中華居酒屋「師府」

ちょっと前に西川口の駅前が中華街化して  
いるとレポートしたのだが、なんと隣の、わが  
町・蕨にもその勢力が拡大しているようだ。こ  
の最近、駅前を中心に中華料理のお店が増  
えてきたように思っている。

今回の店もその一つ。

前回書いた西川口の中華店の支店らしい  
けど、昼飯時にはけっこう繁昌しているよう  
だ。というか、私もすでに四、五回利用してお  
ります。

というのもランチタイムは¥500のメニュー  
があり、そいつがけっこういけるのだ。

先日は肉野菜炒め、麻婆茄子の二種類が  
あり、肉野菜炒めを選んだが、かなりボリューム  
がある。

飯、スープ、料理に小皿ながらサラダにザ  
ーサイ、デザートに杏仁豆腐まで付き、しかも  
飯はお代わりできる!こないだ医者で検査で  
中性脂肪が高過ぎると言われ、しかたなく大  
好きなラーメンを控えて、昼食は野菜の摂れ  
る定食ものになっているのだが、こういう店が身  
近にあると助かるにや。ただその日の料理、  
肉野菜炒めなのに、肉が全然入ってなかった  
のは少し悲しかった…。

○マジ重宝してます度~8

## 表現の不自由展

上島敏昭

名古屋の美術館で開催されている「表現の不自由展・その後」が、政治家や政府の介入があって、中止になったことが話題となっている。今回の騒動の特徴は、韓国の日本大使館などの前に設置されている「慰安婦像」が展示され、また昭和天皇の写真を焼却する映像が流されていると、インターネット上で騒動が広がり、炎上して「事件」となった点に特徴があり、美術および芸術とは別次元でヒートアップしている面もあるように思う。また経緯や事情など、よくわからない点もあるので、調べてみた。

### ◆「あいちトリエンナーレ」および「表現の不自由展・その後」とは

問題となっているのは、「あいちトリエンナーレ 2019」という芸術祭の内の企画展のひとつである「表現の不自由展・その後」という展覧会。まず「あいちトリエンナーレ 2019」というのは、2010年から3年に一度開かれている国内最大規模の国際現代芸術祭。今回はその4回目で、期間は8月1日から10月14日まで。国内外から90組以上のアーティストを迎え、国際現代芸術展のほか、映像プログラム、パフォーミングアーツ、音楽プログラムなど様々な表現を横断する最先端の芸術作品を紹介すること。会場は名古屋市の県立愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、それに市内のまちなか（四間道・円頓寺）および豊田市の豊田市立美術館・豊田市駅周辺となっている。

「表現の不自由展・その後」というのは国際現代芸術展の一企画で、愛知芸術文化センター内の展示室で、8月1日から10月14日まで開催されることになっていた。しかし、さまざまな批判的発言や脅迫まがいのメール、FAXなどにより、8月3日、開催からわずか3日で、主催者である愛知県知事・大村秀章と芸術監督・津田大介によって中止が発表された。

### ◆企画展示から中止までの経緯（8月9日現在）

その間の経過を時系列でならべたものが、「美術手帖」のwebサイトに載っていたので、これを参考に、8月9日までの経緯を、

圧力をかけた側発言を●、圧力に反対する側発言を○として記してみた。

☆7月31日

「あいちトリエンナーレ 2019」開幕

●《平和の少女像》の展示について、大阪市長・松井一郎が「にわかには信じがたい河村名古屋市長に確かめてみよう」とツイート。

☆8月2日

●名古屋市長・河村たかしが「表現の不自由展・その後」を視察。大村知事に対し《平和の少女像》の展示中止と撤去を要請。「どう考えても日本人の、国民の心を踏みにじるもの」と発言。

●官房長官・菅義偉が記者会見で『「あいちトリエンナーレ」は文化庁の補助事業として採択されている。審査の時点では、具体的な展示内容の記載はなかったことから、補助事業の交付決定では事実関係を確認、精査したうえで適切に対応していきたい」と発言。

○芸術監督・津田が、記者会見で「行政が展覧会の内容について隅から隅まで口を出し、行政が認められない表現は展示できないということが仕組み化されるのであれば、それは憲法21条で禁止された『検閲』に当たる」と主張。いっぽうで展示変更の可能性についても言及。

☆8月3日

○大村知事および津田が記者会見で「表現の……」展示中止を発表。

○『「表現の不自由展」および《平和の碑》展示中止反対ご署名の呼びかけ」がスタート。

○一般社団法人日本ペンクラブが声明文を発表。「いま行政がやるべきは、作品を通じて創作者と鑑賞者が意思を疎通する機会を確保し、公共の場として育てていくことである」と主張。

○「表現の……」実行委員会が展示中止に抗議する声明文を発表。

○「#あいちトリエンナーレを支持します」がtwitterに登場。

☆8月4日

○「表現の……」展示中止後、初の開場。会場ある栄の街では、展示中止に反対する抗議するデモ。

☆8月5日

●河村市長、記者会見で「最低限の制限は必要」と発言。

○大村知事、記者会見で「公権力を行使されるかたが、“この内容は良い悪い”というのは憲法21条の検閲ととられてもしかたがない。そのことは自覚されたほ

うが良かったのではないか。裁判されたら直ちに負けると思う」と河村市長を批判。

●菅官房長官、記者会見で「一般論として、暴力や脅迫はあってはならない」と発言。

●松井大阪市長、記者会見で「税金投入してやるべき展示会ではなかった。表現の自由とはいえ、たんに誹謗中傷的な作品展示はふさわしくない。慰安婦はデマ」と発言。

○「あいちトリエンナーレ 2019」出展作家であるイム・ミヌクとパク・チョンキョンが自身の作品の展示中止を申し出る。

○津田、ラジオ番組「JAM THE WORLD」に出演。「検閲というより文化・芸術に対するテロの問題です」と発言。

○「女性・戦争・人権」学会が「あいちトリエンナーレ企画展「芸術の不自由展・その後」展示中止に対する抗議声明」を発表。

○日本漫画家協会が「表現の……」中止をめぐり声明文、発表。

☆8月6日

○参加作家72組がステートメントを発表。「芸術の回復と継続、自由闊達な議論の場」を求める。

○出展作家イム・ミヌクとパク・チョンキョンが作品の取り下げを正式発表。

○「表現の……」実行委員会、大村知事宛での公開質問状を提出。

☆8月7日

○「あいちトリエンナーレ 2019」企画アドバイザー・東浩紀が「表現の……」についてtwitter上で発言。

○美術評論家連盟が「表現の……」中止に対する声明文を発表

●大阪府知事・吉村洋文、定例記者会見で「《少女像》は半日プロパガンダだ。大村愛知県知事は辞職すべき」と発言。

●脅迫 FAX を送った堀田修司(59)が逮捕。2日早朝「大至急撤去しろや。さもなくばガソリン携行缶持って館へおじゃますんで」とコンビニからFAXした。

☆8月9日

○岩手県知事・達増拓也、記者会見で、「警備がクリアできるなら再開すべき」と発言。

○大村知事、この問題に対する検証委員会を設置することを表明

これが8月9日までの経過だが、まだ騒動はつづいており流動的である。

確認しておきたいのは、「表現の不自由展・その後」を中止した理由として大村知事があげたのは、政治的圧力ではなく、「ガソリン携行缶持って云々」のFAXなどの暴

力的な脅迫があり警備上の問題を考慮したため（犯人は7日夜に逮捕）であるということと、中止としたのは「あいちトリエンナーレ2019」の実行委員会（会長・大村知事）と芸術監督・津田大介で、「表現の……」の関係者ではないということ。

#### ◆「表現の…」の趣旨と作品

そもそもこの「表現の不自由展・その後」は、2015年1月から2月にかけて、東京・練馬のギャラリー古藤で開催された「表現の不自由展・消されたものたち」をうけて開催されたものである。公式サイトには次のような文章が記載されている。

〈「表現の不自由展」は、日本における「言論と表現の自由」が脅かされているのではないかという強い危機意識から、組織的検閲や忖度によって表現の機会を奪われてしまった作品を集め、2015年に開催された展覧会。「慰安婦」問題、天皇と戦争、植民地支配、憲法9条、政権批判など、近年公共の文化施設で「タブー」とされがちなテーマの作品が、当時いかにして「排除」されたのか、実際に展示不許可になった理由とともに展示した。今回は、「表現の不自由展」で扱った作品の「その後」に加え、2015年以降、新たに公立美術館などで展示不許可になった作品を、同様に不許可になった理由とともに展示する。〉

公式サイトには、展示作品16点も、その作者名とともに紹介され、一部は作品写真も紹介されていた。作者とその表現方法、モチーフもしくはテーマ、タイトルは、それぞれ次の通り。

安世鴻（写真）[慰安婦]中国に残された朝鮮人日本軍「慰安婦」の女性たち  
大浦信行（コラージュ・4点組）[昭和天皇]遠近を抱えて  
大橋藍（菓子）[中国]アルバイト先の香港式中国料理店の社長から「オレ、中国のものを食わないから」と言われて頂いた、厨房で働く香港出身のKさんからのお土産のお菓子  
岡本光博（デザイン画）[沖縄米軍]落下のおそれあり  
キム・ソギョン/キム・ウンソン（造形）[慰安婦]平和の少女像  
作者非公開（色紙・書・九条俳句）[憲法9条]「梅雨空に「九条守れ」の女性デモ」  
小島明郎（絵画）[天皇制] 空気#1  
嶋田美子（版画・写真）[天皇制] 焼かれるべき絵

白川昌生（造形）[強制連行] 群馬県朝鮮人強制連行追悼碑

趙延修（絵画）[慰安婦] 償わなければならないこと

Chim ↑ Pom（映像）[原発]気合い100連発  
中垣克久（造形）[星条旗、特攻隊、安倍政権批判]時代の肖像—絶滅危惧種 idet JAPONICA 円墳—

永幡幸司（映像）[原発] 福島サウンドスケープ

藤江 民（版画）[不明] Tami Fujie 1986 work

マネキンフラッシュモブ（パフォーマンス）[不明]

横尾忠則（写真）[ターザン]ラッピング電車の第五号案「ターザン」など／（ポスター）[旭日旗]暗黒舞踏派ガメラ商会

「表現の……」実行委員会は、「あいちトリエンナーレ2019」実行委員会に対して抗議文を出している。それによれば、中止の決定は「あいち……」側からの一方的なもので、「疑義があれば誠実に協議して解決を図るという契約に反する」と述べ、「何より、圧力によって人々の目の前から消された表現を集めて現代日本の表現の不自由状況を考えるという企画を、その主催者自らが弾圧」した「歴史的暴挙」と書いている。

#### ◆会場の様子とどんな展示だったのか。少女像と天皇の写真焼却映像は。

具体的に、どのような展示だったのか。インターネットにあがっていた二つのルポによれば、その様子は次のようだった。〈「平和の少女像」は、空席になっている少女像の隣に座ることもできるインスタレーション的な作品だが、少女像の隣に腰かけて自撮り写真を撮る人もいた。／初日（8月1日）は緊張感こそあれど、「身の危険」を感じるほどの殺気立った雰囲気はなかった。（中略）しかし、2日目はその雰囲気が一変した。「平和の少女像」や昭和天皇をモチーフにした作品がネット上で「大炎上」し、2日には名古屋市長の河村たかし氏が同展を視察（中略）展示コーナーには人だかりができるほどの来場者が訪れ、物々しい空気に包まれた。昭和天皇をモチーフにした映像作品の前で、作品への苦言を口にする人もいた。〉（「HuffPost Japan」2019年8月5日。生田綾）※1



8月3日になると、〈「こんな不敬の映像を20分も流すのか!」／美術館に怒号が響く。／「お静かにおねがいします」／「10億円の税金こんなことに使ってるのか!ああん!」／猛暑の折、ヒートアップしまくっている（後略）〉というような状況になっていた。〈会場に入っただけで、細い展示通路の壁にTVモニターがあり、そこで昭和天皇の写真焼くシーンが含まれる映像作品が上映されていた。（中略）まるで街頭テレビで力道山・木村組 vs シャープ兄弟をみるような人ばかり。〉

その「昭和天皇の写真焼く映像」については次のように書かれている。

〈映像自体は、反戦を訴えたもので、戦争の象徴として靖国神社や昭和天皇が出てくる。兵隊がたくさん死んで靖国に祀られ、戦火を表す炎の表現として、写真を焼くのはわからなくはない。／ただし、寿司屋で炙りサーモンするときのカセットバーナーで、昭和天皇の写真焼いていき、最後は燃え尽きて灰になった写真を踏みつける表現は過激だ。／正直、ノンポリでお金以外に興味がない私には、「反戦」を訴える映像作品としてはそんなに無茶苦茶だとは思わなかった。…これ単体ならば。〉

また、デマツイートについてもこう書いている。

〈津田さんも抗議していたように、安倍総理の口にハイヒールを突っ込んでいる展示物は過去にもなかったとのことなので、デマツイートにRTした人は大いに反省していただきたい。〉

（「BLOGOS」2019年8月3日。田野幸伸）※2

長々と状況説明しただけで、私の意見を書くスペースはないが、最近、権力者が平気で人の心情にまで口を出す傾向がある。そんななかでどんな表現ができるのかというのは、大切な問題のはずである。この機会にじっくりと議論できればよいと思う。

※1 [https://www.huffingtonpost.jp/entry/aichitriennale-report\\_jp\\_5d43c7eae4b0ca604e2fb0fe](https://www.huffingtonpost.jp/entry/aichitriennale-report_jp_5d43c7eae4b0ca604e2fb0fe)

※2 <https://blogos.com/article/395581/>